

福島県相馬市へ技術支援 ～農業技術職員を派遣・東日本大震災～



住宅の基礎だけが残る海沿いの市街地

東日本大震災により被災した相馬市への技術支援について、福島県から農業土木技術職員の派遣要請があり、平成24年2月1日から16日まで、小樽開発建設部職員を1名派遣いたしました。

現地では、農地及び農業施設に関わる災害復旧事業に係る現地調査や設計書作成、災害復旧計画の変更手続きなどを行いました。

相馬市の海岸沿いは津波被害で生じた大型瓦礫は片付きつつあるものの、農地では中小のゴミ拾いが依然として続いています。農地は津波により海水やヘドロで覆われたため、畦や用水路・排水路が破損し、地震による地盤沈下などもおこし、目を覆うばかりの状態でしたが、懸命に復旧作業を行う方達が見受けられ、短期間でしたがその一翼を担い、地域農業の再生に向けて作業してきました。

なお、相馬市への職員派遣は交代で実施されており、他開発建設部職員へ業務を引き継ぎし、継続しています。



国道沿いには津波の爪痕が残る



津波により表土・基盤土が流出した水田



農地に散乱したゴミを拾い集める農業関係者



土壌流出し破損した用水路



津波被害で道路・橋が壊れ、農地はヘドロで埋まった



津波被害 農地災害復旧 イメージ

